

小牧地区学校間連携への取組

1 3校連携会議の取組

(1) 第1回連携会議（平成20年6月19日）

「平成20年度の第1回小中連携による外国語活動の在り方に関する研究の研究協力校連絡会」（総合教育センター5月30日開催）での指示を受け、3校（桃陵中・桃ヶ丘小・大城小）の第1回小中連携会議を6月19日に開催した。この会議では当センターよりの提案事項を基に、その時点で可能と思われる外国語活動の連携につながる具体策を検討した。



第1回小中連携会議の様子

「総合教育センターからの提案事項」

- ・ 互いの英語活動の教授法を理解し合うために、小中連携会議を開催する。
- ・ 互いに授業を参観する機会をつくり、さらに授業後に研修会などを併せて開催する。
- ・ 市の教科指導員やその他の指導的な立場の先生を招いた研修会等を合同でもつ。
- ・ 各学校の教材、授業を記録した写真や動画等を共有できるシステムをつくる。
- ・ 児童・生徒の個のカルテを作成し、次の学年へ引き継ぐ一貫した英語教育の実現を図る。
- ・ 小中連携の研究を進めるにあたっての現状の把握および研究成果の変容を見るために、児童生徒並びに教員に対してアンケートを実施する。

○ 平成20年度の方向性

第1回小中連携会議において、確認された事は、「文部科学省の研究委嘱を受け、19年度から英語活動に取り組んでいる桃ヶ丘小とまだほとんど始まっていない大城小との間には、英語活動への取組に大きな差があること」であった。併せて、「桃陵中の英語担当教員には小学校の英語活動について、しっかりとしたイメージがないこと」も分かった。

また、当センターからの提案に関する検討においても問題点が挙げられた。第一に、合同の授業参観やその後の研修会等の設定が難しいということである。この時点では3校とも現職教育計画は既に決まっており、新たに研修会等を実施することは困難であった。第二に、英語活動はまだ始動の段階であり、現状として児童個々のカルテを作成し、ポートフォリオ型評価の継続は困難であるということとなった。

そこで、小学校2校と中学校1校の連携のスタートとしては、桃ヶ丘小の現時点の英語活動パターンを基本として考えていくことを確認し、その上で、できることから進めていくこととなり、以下のように取組を開始することとした。

- ・ 大城小と桃陵中の英語担当者の時間を調整し、桃ヶ丘小の外国語活動の授業参観を実施する。
- ・ 授業参観後に感想等を集約し記録とする。
- ・ 桃ヶ丘小の授業研究計画を2校へ伝え、研究授業への参観を行う。
- ・ 大城小外国語活動の参観は準備が出来次第開始する。
- ・ 桃ヶ丘小の「英語活動レシンプラン」「使用している主なクラスルームイングリッシュ例」「使用している教材」を2校に伝え、特に大城小はそれを基にした活動を進めていく。
- ・ 桃陵中では小学校の外国語活動の現状をつかみ、中1の英語指導の在り方を検討する。
- ・ 小学校2校の外国語活動を進めるにあたって、桃陵中の英語科教員からの助言を受ける。

(2) 第2回連携会議（平成20年10月30日）

第2回小中連携会議（参加者は各校の校長・教務・英語教員の計8名）では6月からの実践についての意見交換，まとめ，各校の現状報告，これからの進め方についての検討を行った。

その中で，今後も互いの授業参観をできるだけ行っていくこと（特に桃陵中英語教員の小学校参観），来年度には互いの研究協議会へも参加できるような日程調整をしていくこと等が話題となった。また，1月末に開催される桃ヶ丘小学校の英語活動発表会へは大城小・桃陵中とも関係教員が参観することを申し合わせた。

(3) 第3回連携会議（平成21年4月16日）

平成20年度には各校の現職教育計画が既に動き出していたため，研究授業の参観が日程的に難しかった。そこで，連携2年目として，互いの授業研究に参加できるように，日程調整を行った。（3校の教務主任）



第3回小中連携会議の様子

(4) 第4回連携会議（平成21年4月27日）

桃ヶ丘小学校の外国語活動の取組を踏まえた上で，桃陵中学校として取り組める英語授業研究についての検討を行った。（桃ヶ丘小学校・桃陵中学校の教務主任・英語担当）

(5) 第5回連携会議（平成21年5月28日）

3校の校長・教務主任・英語科主任が参加し，平成21年度の3校連携の方向性についての検討を行った。市内の小学校外国語活動も徐々に始動していることや，市英語推進委員会や英語研究会などでも小学校外国語活動や小中連携に向けた取組が進められていることなども踏まえ，広い範囲で情報交換を進めながら，研究を進めていくことを確認した。

- ◎ 計画した授業公開や研究授業を参観し，意見交換を実施する。
 - ・ 中学校でもコミュニケーション活動を取り入れた授業を実施できればよい。
 - ・ フォニックス教材が総合教育センターから届いたが，時間的になかなか取り組めない。
- ◎ 英語研究会にて小中学校が合流して小学校で行うアクティビティー学習会を実施する。
 - ・ 小学校でもフォニックスを取り入れ，中学での文字学習の移行としていきたい。
- ◎ 中学校での英語での指示を多くする。小学校でのクラスルームイングリッシュを基にしながら，小中学校としてのつながりのあるものにできればよい。

(6) 第6回連携会議（平成21年10月29日）

第6回の連携会議では11月の当センター研究発表会を控えて，これまでの互いの授業参観や各校の取組についてのまとめと，発表内容の検討を行った。

2 授業参観の実施

(1) 桃ヶ丘小の外国語活動授業の参観

- ① 学校公開日 < 4年 担任・協力員, 6年 担任 > (平成20年5月31日)
- ② 学校訪問 < 5年 担任・協力員, 3年 担任・協力員 > (平成20年6月5日)

学校訪問特設授業 5年 (担任・協力員)
題 材 Numbers 1~12
-60~5 跳び (5, 10, 15, ...) の数の言い方・時刻の聞き方, 答え方-
言語教材 Hello. What time is it? It's (12:25).

- ③ 通常授業 < 6年 担任・ALT > (平成20年6月25日)
- ④ 通常授業 < 5年 担任・協力員 > (平成20年7月4日)
- ⑤ 通常授業 < 5年 担任・協力員 > (平成20年7月14日)
- ⑥ 通常授業 < 6年 担任・協力員 > (平成20年7月16日)
- ⑦ 研究授業 < 5年 担任・協力員 > (平成20年10月16日)

研究授業 5年 (担任・協力員)
題 材 School Things/Prepositions -学校で使う物の場所を伝える-
言語教材 Where's the----? book,pencil case,pencil,pen,paper,notebook,blackboard,
eraser,door,desk>window, in,on,under,by,in front of,behind



⑦研究授業の様子



⑦研究授業の様子



教員の研究協議

- ⑧ 学校公開日 < 3年 担任・協力員, 1年 担任・協力員, 5年 担任・協力員 >
(平成20年11月1日)
- ⑨ 研究発表会 < 2年 担任・協力員, 4年 担任・協力員, 6年 担任・協力員 >
(平成21年1月30日)

研究発表会公開授業 6年 (担任・協力員)
題 材 Review & Self-Introduction -復習・自分を紹介しよう-
言語教材 I'm from (a country). I live in (a city). It has (a famous landmark).
I want to go to (a country). I /You have a ~. He / She has a ~.
I / You play ~. He /She plays ~. I / You have ~. I don't have ~.
food,vegetables, fruits, subject,jam,pet, my things, month,sports,
feeling,week,wild animal,around Japan,countries,famous landmark



⑨研究発表会の様子



⑨研究発表会の様子



⑨研究発表会の様子

⑩ 学校公開日 < 2年, 3年 担任・協力員 > (平成21年5月30日)

⑪ 学校訪問 < 3年, 5年 担任・協力員 > (平成21年6月15日)

学校訪問特設授業 5年 (担任・協力員)

題 材 Review Time Birthday - 1~60までの数字や月・季節-

言語教材 1~60の数

January, February, March, April, May, June, July, August, September,
October, November, December, spring, summer, fall, winter

⑫ 研究授業 < 6年 担任・協力員 > (平成21年10月15日)

研究授業 6年 (担任・協力員)

題 材 Around the World - 外国にあるものを紹介しよう -

言語教材 Where do you want to go to (country)?

I want to go to (a famous landmark). It has (a famous landmark).
countries (Australia, Brazil, Canada, China, Japan, Kenya, Korea,
New Zealand, The UK, The USA, Ireland)

famous landmarks (Sydney Harbour Bridge, Rio de Janeiro Festival,
CN Tower, The Great Wall, Mt. Fuji, Elephants & Lions, Beaumaris, etc)

(2) 大城小の外国語活動授業の参観・研究協議

① 研究授業 < 6年 担任・協力員 > (平成21年6月18日)

研究授業 6年 (担任・協力員)

単 元 When is your birthday? - カレンダーを作ろう -

言語教材 When is your birthday? It's in ~. I like ~. I play ~.

When is hinamatsuri? It's in ~. January, February, March, April, May,
June, July, August, September, October, November, December



①研究授業の様子



①研究授業の様子



①教員による研究協議

(3) 桃陵中の英語授業の参観

① 公開授業 <1年 担任・ALT> (平成21年4月16日)

② 研究授業 <1年 担任・TT> (平成21年6月11日)

研究授業 1年 (担任・TT)

単元 Unit3 グリーン先生の初授業 "I like skiing, but I don't like soccer."

- 一般動詞の文では、do not (don't) を使って否定文を作ることができる。
- リズミカルに英文を読むことができる。
- 自分の好きな物や嫌いな物について表現することができる。



②研究授業の様子



②研究授業の様子



②研究授業の様子

3 小牧市の英語活動推進への取組

(1) カリキュラム・レessonプランの作成

小牧市では平成18年度より『小学校英語教育推進委員会』を立ち上げ、市としてどのように取り組んでいくかを検討し、以下のようにカリキュラムやレessonプラン等の作成に取り組んだ。

2009年度 小牧市 小学校外国語活動方針

1 新学習指導要領の目標に沿って

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながらコミュニケーション能力の素地を養う。

2 カリキュラムの実施 (2009年度)

① 5・6年から年間35週間で導入し、1～4年は各学校の実態に応じる。

② 指導体制の基本

5・6年<外国語活動>35時間

担任+ALT (時間) と担任+協力員を隔週

※ 少なくとも各単元の第1時ではALTとのTTができるようにALTの配置・時間割を組むことが望ましい。

3・4年＜総合的な学習＞

担任+ALT（16時間） 隔週 or +（担任+協力員18時間隔週）

※ 3・4年では国際理解的な探究活動または交流活動となるように配慮する。

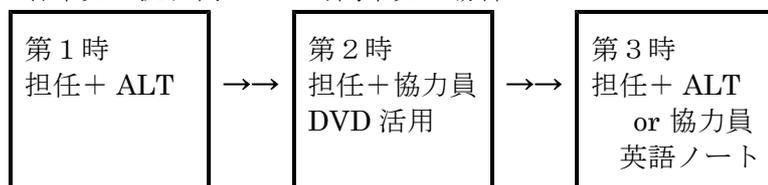
1・2年＜学校裁量の時間＞

担任+ALT（6時間）15分×隔週 or +（担任+協力員8時間隔週）

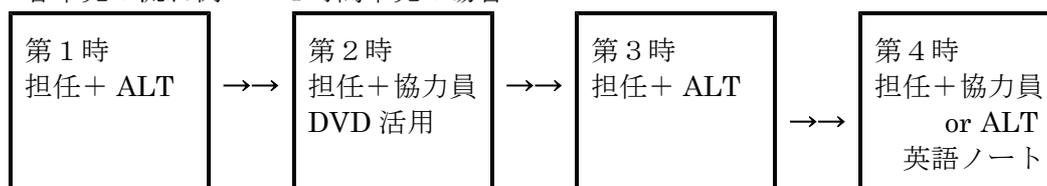
3 5・6年における各単元の活動の流れ（例）

- ① ALTと共にその月の単元で使用する新出表現を楽しく導入する。
- ② DVDを使用した前時の復習，担任を中心とした復習的なアクティビティにより表現に慣れさせる。また出演しているALTの様子を見ながら話を聴き取る活動を通して，その場面の様子を理解しようとする姿勢を身につけさせる。
- ③ 英語ノートを使用し，担任を中心にコミュニケーションの体験的活動・国際理解的な活動を行い，外国語や外国の文化に親しませ，興味を広げさせる。

＜各単元の流れ例 3時間単元の場合＞



＜各単元の流れ例 4時間単元の場合＞



4 各校における教材・施設準備

- ① DVD，英語ノート電子黒板用ソフト
- ② フラッシュカード+スモールカードセット（アルティア版 5・6年用セット）
- ③ 英語ノート用 CDプレイヤー（電子黒板用ソフトを用いれば不要）

5年 外国語活動 単元計画 (2学期)

月	単元	時数	目 標	提示課題 Today's Point	指導支援者 使用教材	使用する主な英語表現・語彙 (新出語彙は青字)
9月	学校を案内しよう	第1時	教室の言い方や場所を尋ねる言い方を知り、ゲームを通して楽しみながら表現に慣れる。	先生のいる所を教えてあげよう	ALT	school rooms /school things Where's ~? In the ~. Where's the teacher?
		第2時	教室や場所についての会話を聞き取り、その会話を使ったゲームを通して、表現に親しむ。	どの教室にあるか教えてあげよう	協力員 DVD M5	What's your name? What room is this? Where is my eraser? (It's) in the teacher's room.
		第3時	文房具などの持ち物の言い方を知り、自分の持ち物のある場所についての問答を楽しむ。	私の持ち物があるところは何?	ALT 又は 協力員	school / classroom / cooking room /gym / library/ music room / nurse's room / playground / science room teacher's room/ eraser / blackboard / notebook / paper /
10月	いろいろな国のことを知ろう	第1時	ALTの出身国の行事、遊びやスポーツなどについて知り、簡単なゲームを体験することを通して、世界の色々な文化に興味をもつ。	いろいろな国の文化は?(ALTの国の紹介)	ALT オリジナルプラン	第1時の使用語彙はALTの計画によるが、第2時、第3時に使用する下記の表現を含むようにする。
		第2時	衣服や色についての簡単な会話を楽しむことができるとともに、世界には様々な衣服があることを知り、興味をもつ。	いろいろな国の衣装を知ろう	協力員 英語ノート Lesson5	Do you have a(whiteT-shirt)? Yes, I do. Here you are. No. I'm sorry. T-shirt / sweater / pants / shorts /skirt/shoes / socks / cap / Chinese dress
		第3時	食べ物に関する外来語とその由来について知り、多様な表現に興味をもつ。 自分の欲しい食べ物を選んで伝え、フルーツパフェをつくる活動を通して自己表現活動を楽しむ。	外来語を知ろう・何がほしいの?	ALT又は 協力員 英語ノート Lesson6	What do you want? pizza / salad / juice / soup/ steak /pudding / parfait / cream puff
11月	場所を教えてあげよう	第1時	文房具などの言い方や、位置を表す前置詞のつかい方を知り、簡単な会話を楽しむ。	どの位置にあるの?	ALT	Where is the ~? It's (in/on/under・・・) the desk.
		第2時	文房具などのある位置についての会話を聞きとったり、ゲームを通して表現に親しむ。	どこにあるの?	協力員 DVD M6	in / under / on / by / in front of / behind/ notebook/eraser/pen/book pencil-case/paper/pencil/ desk / chair / box / glove/cards/doll/jumprope / cat(s) / dog(s) / bird(s) / school / classroom / cooking room/gym/library/music room nurse's room/playground / science room/teacher's room
		第3時	いろいろな教室の言い方に慣れ、どの教室にあるかについての会話を楽しむ。	いろいろな教室の言い方を覚えよう	ALT	
		第4時	クイズを通して、いろいろな国での生き物の表現などを知り、興味をもつ。	クイズ大会をしよう	協力員 英語ノート Lesson7	What's this? It's a~.
12月	さがしものはどこ? クリスマス	第1時	文房具などがどの教室のどの位置にあるかの言い方を知り実際に探しものをする体験を通して、表現に慣れる。	オリエンテーリングをしよう		学校にある物、教室 Where is ~? It's in the~ room. It's (on/under) the teacher's desk.
		第2時	何がどこにあるかについての会話を聞き取り、会話を使ったゲームを通して表現に親しむ。	(復習) さがし物をしよう	協力員 DVD M6	over there/next to/left/right Where is my notebook? It's on the desk in the music room.
		第3時	クリスマスに使う表現を知り、クリスマスについての話を聞いて、外国の文化に興味をもつ。	クリスマスを楽しもう!	ALT又は 協力員	Christmasの表現 presents / Christmas tree / reindeer / Santa Claus / sleigh/ bell(s)/ decoration(s) / snowman / stocking / star / toy(s) / chimney / cookies / candle /

Grade5 November 5年 11月 場所を教えてあげよう 2/4

DVD 5年2学期 M6 School Things / Prepositions (前半部分～10:07)

Teaching Flow 学 習 活 動	HRT (担任) の働きかけ	協力員 DVD 教材
-----------------------	----------------	------------

1 Greetingsあいさつ 日直を中心に 児童、担任、協力員 で行う。

2 DVDでALTとあいさつしたり、質問に答える。	・児童に率先してDVDのALTとあいさつをする。	DVD前半ライブ理解を促す支援
---------------------------	--------------------------	-----------------

Today's Point どこにあるの?(教室にあるもの)

3 Practice 練習 (1) DVDでSchool Things (教室にあるもの)の言い方を練習する。 (2) FCを見て発音練習をする。	・必要に応じ一時停止・リピートを行い概要を把握させる。 ・FCをさっと見せて言わせる。	DVDアニメーション1 (～10:05) FC4 教室のもの
4 Practice 練習 (1) DVDで前置詞の練習をする。 by/ behind / in front of / on / under /in (2) 会話練習をする。	・机間指導をする。 ・児童と共に元気に発音する。	DVDアニメーション2 Let's practice a few more words～ (～10:07)

① 担任+協力員で役割を交代してデモ会話をする。絵カード 机の周りのもの

A: Where is the (pen/pencil/eraser/book) ? B: It's (by/ behind / in front of / on / under /in) the desk.

② 協力員の後について練習する。

③ 協力員と交代で問答する。

④ Row Race (2列)

列の右側の先頭が絵カードを見せながら、尋ねる。後ろの人は答え、絵カードを受け取る。順に質問しながら絵カードを後ろまでまわし、最後尾まで行ったら左側の列で前まで送る。別のカードで繰り返す。

5 Activity インフォメーションギャップ

4人グループで会話をし、その結果をワークシートに書き込む。

① ワークシートの1列目の持ち物の位置を決め、他の子に見せないようにして、2列目の机の絵の●を丸で囲む。4つの持ち物は全部違う位置にあることにする。
② 担任、協力員はそれぞれワークシートを持ち、相手に見せないようにしながらデモ会話をする。

A: Where's the (pencil) ? B: It's (by) the desk.

③ ワークシート3列目の机の絵の、byの●を丸で囲む。同様にして他のメンバーに順に尋ね、最後に班のメンバー全員でAに尋ねることを知らせる。

6 Activity 活動 ラッキーパーソンゲーム

ラッキーパーソンに渡すもの

C1: Hello. Where's the pen? C2: It's on the desk. C1: Thank you!

男子が外側に大きく円を作り、女子は内側に入る。女子が目をつぶってる間に教師は男子の中に5人ラッキーパーソンを選ぶ。女子は男子に話し掛けていく。時間がたって全員座らせた後、ラッキーパーソンを発表。ラッキーパーソンと会話していた女子が勝ち。後ほど男女交代。

7 Feedback まとめ

- ・振り返り
- ・自己評価
- ・相互評価

コミュニケーション目標 Smile / Eye contact / Clear voice Listen and Reply/Positive attitude
--

- ・観点に応じ児童をほめる。

- ・がんばった児童をほめる。

8 Final Greetings 最後のあいさつ 日直を中心に 児童、担任、協力員であいさつをする。

(2) 英語研究会の研修

小牧市英語教育研究会では小学校外国語活動の開始に伴い、研究のテーマを「小学校と中学校の連携について ～小学校の外国語活動を考える～」として、全市的に小学校外国語活動について、その活動内容の研修や小中連携の在り方の検討を進めている。

英語教育研究会には52名の教員が所属しており、毎月1回程度開催している。研究会では市内小中学校全25校を中学校区を基本とした4つのグループに分け、毎回小学校の教員1名と中学校の教員1



名が小牧市外国語活動推進委員会のレッスンプランを基にして模擬レッスンを行い、その後、各グループでその模擬レッスンの活動過程やレッスン内のアクティビティについての協議をしている。

中学校の教員にとって、小学校の外国語活動を知るには授業参観が一番であるが、時間的に難しい面があるので、この模擬レッスン研修・協議は小学校の外国語活動を体験して、その内容を理解する



よい機会となっている。また、小学校外国語活動授業から中学校の英語科授業への橋渡しとして、中学1年生時に取り入れていけるアクティビティの検討にも結び付けている。

小学校の教員にとっては、始まったばかりの担任主導となる外国語活動の進め方の研修となっていることはもちろんであるが、英語を専門とする中学校の教員からのアドバイスが受けられるよい機会となり、自校でのよりよい外国語活動に結び付いている。



(3) その他

今年度は新しい取組として、「小学校外国語活動プロフェッショナル派遣事業による英語研修会」が行われた。9月11日（金）に文部科学省教科調査官の直山木綿子氏を講師として迎え、午前中は本庄小学校で市内の小学校の教員が外国語活動を、また午後は味岡中学校で中学校の教員が英語の模範授業を参観し、それを基にした研究協議を行った。



外国語活動では「英語ノート1」の「外来語を知ろう」の単元で新しい単語の導入の仕方から、単語を聞いて何のことか分かる→単語を聞いてリピートすることができる→自分で単語が言える、という順を追ったアクティビティの進め方について研修した。また、中学校では1年生の曜日や教科の言い方を学習する単元を参観し、実際の時間割を使った会話を行うなど、

「いかに教科書の内容を発展させて、実生活に基づいた活動を教員が仕組んでいくか」ということを考える機会となった。

4 成果と課題

平成20年6月（第1回連携会議）より、3校（桃ヶ丘小・大城小・桃陵中）での小中連携による外国語活動の推進に取り組んできた。新学習指導要領の完全実施を平成23年度に控え、小学校外国語活動の取組がスタートし始めたばかりであり、カリキュラムや指導方法等がこれから確立されていくことになる。その中で、小小連携・小中連携を十分に進めることができたか、成果が十分にあったか、などには疑問は残るが、これからの活動を進めていく上で、この1年半の間に行ってきた3校での相互の授業参観や情報交換は大変有意義なものになったことは間違いない。成果や課題についてのまとめができるようなところまでは行き着いてはいないが、これまでの取組について、振り返ってみたい。

(1) 小学校間の連携

小学校間での連携では、文科省研究指定の委嘱を受け、19年度より2年間担任中心での外国語活動に取り組んできた桃ヶ丘小学校と20年度までALT（小牧市よりの派遣）による授業のみの大城小学校とでは、スタート段階で児童・教員ともに意識の差があった。その点を踏まえた上で、まずは大城小学校の教員が桃ヶ丘小の外国語活動の状況を把握するためには、授業参観の実施が第一と考えて取り組んできた。

桃ヶ丘小学校の21年度の外国語活動は19・20年度の2年間の研究を基盤として、その年間計画に従って授業を行っている。大城小学校との連携では、研究授業や公開日の授業の参観、「桃小レessonプラン」（20年度の各学年でのすべての授業プラン集）や「クラスルーム・イングリッシュ例」等の提供、大城小学校の英語活動研究授業の参観などを進めてきた。

大城小学校では新学習指導要領への移行を視野に入れて、20年度中に担任主導での外国語活動の基礎づくりに取り組む計画であったので、桃ヶ丘小学校の授業参観を進めるとともに、21年度からの外国語活動の開始へとつなげた。

小小連携での成果として挙げられる事項

- ・大城小学校にとっては、小中連携会議の開始は外国語活動スタートの起爆剤となり、桃ヶ丘小学校の授業参観・英語活動部会の設置・クラスルーム・イングリッシュ研修会実施へとつなげることができた。
- ・相互の授業参観実施により、活動過程の流れはもちろん、活動内のアクティビティで行う多くのゲームも共有することができた。
- ・桃ヶ丘小学校教員が参加した大城小授業研究の協議会では、授業中のアクティビティの仕方や協力員との連携等について、桃ヶ丘小の2年間の取組を伝えながら、より具体的な協議を行うことができた。

桃ヶ丘・大城小学校両校の児童たちにとって、外国語活動は「好きな授業」のトップに上がるほど、興味関心を持って臨むことができる授業となっている。そんな児童を対象に行う小学校での外国語活動は「英語学習への意欲をより高めていくこと」「英語科の学習に対しての『よい印象』をもたせて中学へとつなぐこと」も大きな役目であると考えられる。そのためには、これまでALT主導で行ってきた活動を担任主導へとうまく移行することや、より楽しいアクティビティ、より精選されたカリキュラムやレessonプランの検討などを小牧市全体と連携をとりながら、桃ヶ丘・大城小学校両校で知恵を出し合いながら、共に力を合わせて進めてきたいと考えている。

(2) 小中学校間の連携

小中学校間での連携では、中学校の英語科教員が小学校外国語活動のイメージやその活動内容・授

業の流れを知ることが第一であると考え、桃陵中学校英語科教員による桃ヶ丘・大城小学校両校の授業参観を随時行って来た。それにより、小学校外国語活動を大まかにとらえることができたと考える。また、小学校外国語活動の取組を上手に中学校1年生での英語科授業に生かすにはどうすべきか、中学の英語科授業に取り入れていけるものはないか、等の検討を進めており、まずは授業活動内に小学校の外国語活動で行っているアクティビティーを導入した授業を実施した。

小中連携での成果として挙げられる事項

- ・桃ヶ丘・大城小学校両校の外国語活動授業を中学校英語科教員が参観することにより、授業の流れのパターン・活動内のゲーム・教員の指示で使用するクラスルームイングリッシュ等、小学校の外国語活動を大まかに把握することができた。
- ・小学校外国語活動のカリキュラムやレッスンプランの内容を知ることが中学校での英語の内容との比較やつながり等を検討するよい材料となった。

桃陵中学校では既存のカリキュラム（愛日版）によって指導を進めているが、小中の連携を考えた場合、小学校5・6年生の外国語活動と中学1年生の学習内容をうまくつなげていく点に考慮したカリキュラムの検討が必要になってくると考えている。

(3) 小牧市全体での取組

20年度末に小牧市英語推進委員会によって小牧市の英語活動カリキュラムも作成され、21年度より小学校外国語活動は小牧市全体としての取組が徐々にではあるが始動している。また、中学校英語科教員と小学校外国語活動担当教員の研修も開始された。

小学校ではALT主導の授業と担任主導の授業を交互に行っている。英語が専門ではない小学校教員にとって、外国語活動の授業に取り組むことは安易なことではない。その課題解消には各小学校での研修はもちろんであるが、中学校英語科教員を引き込みながら、全市的な研修を今後も計画していく必要があると考える。また、小学校5・6年生から中学1年生へつながる小中連携の指導法やその基盤となるカリキュラムなどの検討会を設定し、全市的な歩調で小学校外国語活動と中学校英語科の取組を進めていくことも大切になる。